

西尾 洋 公開講座

和声の練習帖 ～ 手の形で和声感を身につける

和声学習の第1段階 — それは、徹底的に身体で覚えることです！

講座内容

1. なぜ、和声法の教科書を読んでも「わかった」という気になれないのか？
～理解するとは？ — 認知の仕組み
2. 和声法学習の第1段階 和声を“手の形”で覚える
3. 初めて学ぶ子どもの場合 ～理想的な和声学習法とは
4. 一度挫折した大人の場合 ～失敗しない学びのポイント
5. 和声学習の道程（数字付低音、対位法、各作曲家と和声etc.）

和声を
“手の形”で
覚えてしまう練習法を
提案します。



西尾 洋 (にしお・よう)

本講座では「規則に従って課題を解いていく」方法ではなく、「(いわゆる)正解を弾いて覚える」方法を採用した鍵盤和声への導入法をご紹介します。

私たちが何かを理解するとき、それは過去の自身の体験とすりあわせる作業をしていることが多いです。和声においても、この体験の蓄積がない限り、和声法の教科書と向き合っても、実際の演奏や鑑賞に生きる和声感が身につくことはないでしょう。学習の第1段階として、和声を「手の形」で覚え、手の形が「音の響き」や「動き」と連動するまで“音に耳を傾ける”体験を繰り返しながら、和声を身体に染みこませた後、和声法の教科書に取り掛かれれば、きっと腑に落ちることが増えるはずです。まず和声を全身の全毛穴、全細胞で味わってみましょう。

作曲家。1977年埼玉県生まれ。ヤマハ音楽教室でピアノと作曲を学び、東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校作曲専攻を経て、同大学作曲科を中退。リューベック（ドイツ）音楽大学卒業後、同大学院作曲専攻を審査員満場一致の最優秀の成績にて修了。滞独中にDAADドイツ学術交流会奨学金を得る。東京藝術大学音楽学部作曲科およびヤマハマスタークラス特別コース講師。ヤマハ音楽能力検定試験官。日本ソルフェージュ研究協議会理事。全日本ピアノ指導者協会指導者育成委員。日本現代音楽協会、日本・ロシア音楽家協会会員。著書「応用楽典 楽譜の向こう側」（2013年）、「鍵盤和声 和声の練習帖」（2017年、以上音楽之友社）。「エッセンシャル・ディクショナリー 楽典 楽譜の書き方」（2014年、ヤマハミュージックメディア）を監修。論文「演奏表現に直結するソルフェージュ教育～日仏独の比較を通して」（2015年）。雑誌「ムジカノーヴァ」および「音楽の友」（音楽之友社）に連載。

●日時

●テキスト

「鍵盤和声 和声の練習帖」（音楽之友社）

* 当日会場でも販売いたします。

●会場

●お問合せ・お申込み先

●受講料

キリトリ線

行 FAX : 申込日 月 日

西尾洋 公開講座

年 月 日 ()

和声の練習帖

申込書

お名前			
ご住所	〒		
TEL		FAX	
E-Mail			
種別	会員 ・ 一般		

※〇印をおつけください。ご記入いただいたお客様の個人情報は、この講座の控えとしてのみ使用させていただきます。